



 PEARL iZUMi

# PEARL iZUMiがCentric PLMで サステイナブルなビジネスを実現

 CentricSoftware™

© 2022 Centric Software, Inc. 全著作権所有。

## 「Centricのおかげで素材と詳細情報を分けて管理し、ウェアのレベルまで素材を追跡管理できるようになりました」

PEARL iZUMi のマテリアル開発担当Matthew Kent氏は、よりサステナブルな素材を使った商品を開発するための目標について、こう話します。PEARL iZUMiでは、会社の掲げる目標に沿ってサステナビリティに注力していますが、この分野においてどのような取組みを行っているのでしょうか？

### 自転車ビジネスは最高

1950年に日本で創業したPEARL iZUMiは、サイクリング用品、シューズ、サステナブルなカジュアルアパレルを販売しており、本社はコロラド州ボルダー近郊のレイビルにあります。PEARL iZUMiでは、人にも地球にもやさしい自転車を扱う自社のビジネスを素晴らしいと考える一方で、自分達のビジネスが正しい方法で進められているのかを適切に把握したいと考えていました。“現在の私たちの生き方が、未来の世代の走りを形作る。だからこそ、もっと走って、もっと多くを実現する”という信念を社会的目標に掲げており、商品に使用する素材や生産時の排出物が“私たちみんなが走る場所”に直接影響を及ぼすため、気候変動に積極的に立ち向かうことをコミットしています。

サステナビリティへの取組みで最先端を走るPEARL iZUMiは、3つのアプローチで大きな目標を掲げています。

1. 2022年中に商品の90%にサステナブルな素材を使用する
2. パッケージを削減する
3. 2025年までにカーボンニュートラルを達成する

### 無駄を削減

PEARL iZUMiでは、全体で無駄を削減したいと考えていました。マテリアル&プロダクト開発部門の前シニアマネージャSamantha Svedlund氏は「PEARL iZUMiに入社した当初は、素材を先に仕入れており、購買計画や数量に変更が入ると、必要以上に仕入れてしまうこともありました。プランニングシステムをCentricと連携することで、市場のニーズに対応する力を強化し、必要な数量をベンダーに毎月正確に連携することができるようになりました。なので、今では今シーズンの購入予定量を1度だけ連絡する代わりに、ベンダーに毎月最新の情報を連携することができ、ベンダーも事前に計画して準備を進めることが可能になっています。各シーズンで素材の無駄を削減することで、サステナビリティの取組みで大きな成果を出すことができました」と語ります。



各シーズンで素材の無駄を削減することで、サステナビリティの取組みで大きな成果を出すことができました

#### 課題

- + パッケージの削減
- + サステナブルな素材の利用目標の達成
- + 2025年までにカーボンニュートラルを実現
- + 素材の詳細情報の管理



## サステナブルな素材

PEARL iZUMiでは、サステナビリティのレポート作成を継続したいと考えていました。システムアドミニストレータのDaniel Icaza氏は「カーボンフットプリントの算出に注力しており、REIをはじめとするお客様から好評いただいています。現在Higgとの関連性を調査しており、レポートの一部を連携できるかを検討しています」と話します。

PEARL iZUMiは2022年中に全製品の90%で素材の最低50%に、リサイクル素材、再生可能素材、オーガニック素材を使用するという目標に向かって、好調に歩みを進めています。この目標は2018年にサステナビリティの基準を再設定した際に立てたもので、ビジネス戦略に沿った形で、石油の消費量を調査し、サステナブルなアパレルに注力しています。Centricで作成するレポートと、Higg Indexを使ったレポートを活用することで、素材レベルでも商品レベルでも石油消費量を算出することが可能になりました。

頼りになる素材情報のページを見れば、詳細情報を確認することができます。Kent氏は「様々なレベルの情報を確認して、レポートを作成することができます。現在使用している素材がすべて入ったリストが用意されていて、サステナビリティの様々なカットで分類することができるので、それをもとに当社が今どこまで対応できているのかを分析することができます。Centricは素材と詳細情報を切り離して取り扱えるので、各ウェアのレベルで素材を管理し把握することができます」と語ります。

Svedlund氏はさらに「PEARL iZUMiは、リサイクル素材やオーガ

ニック素材、天然繊維など、あらゆる素材を繊維レベルで把握し、例えば50%リサイクル、80%リサイクルなど、サステナビリティの種類に応じたタグを使っています。また耐久耐水性のあるものには、どんな化学物質が使われているのかも管理しており、Centricの様々な属性を使ってこれらの特性を管理して分類し、1つのレポートにまとめることができます。そして各ウェアに使う素材の総消費量を算出し、リサイクルポリエステルやナイロンの割合などを確認できます」と話します。Icaza氏は「現在は2023年春のシーズンに向けて、これらの属性の管理に取り組んでおり、すべてをカテゴリに分類してPLMで管理し、いつでもアクセスできるので、とても役立っています。昨日は業務部門のシニアマネージャに、サステナビリティのタグごとにデザインと素材を分類したレポートを作成してほしいと依頼されましたが、簡単に対応することができました」と語っています。

環境保護への取組みを強化するPEARL iZUMiですが、Kent氏はこう話します。「素材のサステナビリティという観点では、PLMを使って、その素材で環境目標を達成できるかをアドバイスすることを検討しています。つまり、ある素材を採用することを決めてからその素材が基準を満たしてくれることを願うのではなく、最初から目標を設定し、それを達成するために必要なものを、より詳細レベルで管理するのです。合格点に達しなかった商品は、リストから外すか、よりサステナブル商品にするために開発しなおします。今では詳細な情報を手にして、それを実際に活用することができ、例えば石油の使用量で基準を満たす必要がある場合は、リサイクル量の割合が〇〇の生地を指定し、そうでないものは使用しないといった判断を行うことができます」

## パッケージの削減

Peral iZUMiでは、パッケージはすべて部品表(BOM)で管理しています。商品開発担当のSierra Klimesh氏は「2022年春から、ウェアを折りたたむ代わりに、小さなラフィア素材(天然素材)で巻いて結ぶロール&タイ形式を導入して、小さなポリ袋で包装しており、ポリ袋はリサイクル可能なものを使っています。BOMでラフィアを検索するだけで、いくつかのデザインでロール&タイ形式が使われているかがわかるレポートを作成することができます。消費者に直送する商品にはラフィアのみを使用し、ポリ袋は使わないようにする必要があります。最終的には全製品でポリ袋をなくしたいと考えていますが、バイヤーや流通業者の中にはまだその準備が整っていない企業もあります」と話します。他にもPEARL iZUMiでは、生産と輸送にかかるエネルギーを削減するために、2017年に紙のカタログを廃止しました。

### 導入結果

- + 使用状況を確認する機能で、パッケージの削減を管理
- + サステナブルな素材の使用率が、目標達成に向かって順調に推移
- + カーボンニュートラルの算出が可能に
- + 素材やウェアのレベルでサステナビリティを管理

## さらに上を目指して

PEARL iZUMiは、2025年までにカーボンニュートラルを実現することを宣言しており、石油の使用量を削減することで二酸化炭素の排出量とその影響を削減することを、サステナビリティの目標の3つ目に掲げています。それを実現するために、Pearl iZUMiでは“Pedal to Zero™”キャンペーンを立ち上げ、移動に自転車を使うことを推奨しています。2022年春のBikeStyleコレクションでは、商品のカーボンフットプリントを相殺するために、自動車の代わりに自転車で移動する必要があるマイル数を表示する予定です。これにより消費者は、購入するウェアの生産に使われた石油の量を把握することができます。Klimesh氏は「消費者は、この商品の生産で発生した二酸化炭素を相殺するためには、自転車で30マイル(約12キロメートル)走る必要がある、ということ把握することができるのです」と話します。これは非常にわかりやすい情報です。PEARL iZUMiはシステムを活用することでこれらを実現し、サステナビリティの道をさらに先へと進み続けています。





## PEARL iZUMi ([www.pearlizumi.ca](http://www.pearlizumi.ca))

PEARL iZUMiは、上質なサイクリングウェアをリードするメーカーとして、長年に渡ってその地位を確固たるものにしてきました。イノベーション、研究開発、アスリートによるテストにより、すべてにおいてお客様の期待を超える商品をご提供しています。サイクリング業界で長年に渡って成功を収めてきたPEARL iZUMiを支えてきたのは、企業としてのコアバリューとそれを実現してきた従業員の力です。本社があるコロラド州レイビルは、デンバーとコロラドの間の便利な場所にあり、Moneyマガジンが選ぶアメリカで住みたい街No.1に選ばれたこともある美しい街で、働くのに理想的な場所です。さらにレイビル周辺には、ツーリングやハイキング用の道、国立公園、有名なスキーリゾートなど魅力的な場所が数多くあり、アクティブライフを楽しむには最適な所で、年間を通して晴れ間が多く、近代的で自然とアート、カルチャーのバランスがとれた素晴らしい場所です。PEARL iZUMiは、商品だけではなく独自の価値観を重視し誠実さを大切にすることで、業界最高の基準を維持してきました。ブランドとしての価値観をオフィスの壁に掲げるだけでなく、信頼・共感力・技術力・影響・プラス1(情熱)の5つのコアバリューを体現できるよう、日々熱心に仕事に取り組んでいます。

## CENTRIC SOFTWARE ([www.centricsoftware.com](http://www.centricsoftware.com))

シリコンバレーに本社を置くCentric Software®は、ファッション、小売り、フットウェア、ラグジュアリーブランド、アウトドア、家電製品、化粧品、パーソナルケア用品、食品等のコンシューマグッズ業界向けに、デジタルトランスフォーメーション(DX)をサポートするソリューションをご提供しています。代表的な製品ライフサイクル管理 (PLM) ソリューションCentric PLM™は、変化の激しい時代に対応するための販売計画、商品開発、調達、品質管理、商品ポートフォリオ最適化の機能を搭載しています。また、タッチ操作で使い、協業や意思決定をサポートするデジタルボードCentric Visual Innovation Platform (Centric VIP) もご利用いただけます。また、Armonica Retail S.R.L.が提供する革新的なクラウドネイティブのソリューションCentricリテールプランニングは、小売計画のプロセス全体をサポートし、小売ビジネスの最大化をサポートします。Centric Softwareは、モバイルのパイオニアとして、業界初のPLM用モバイルアプリの他、ERP、DAM、PIM、eコマース、プランニングなど各種システムとの連携機能や、Adobe® Illustratorや3D CADとの連携機能をご用意しております。常に市場のニーズに対応した機能を開発し、業界最高の利用率を誇るCentricは、業界最速で価値をお届けしており、リードタイムを短縮して、コストを削減し、イノベーションを強化するためのソリューションをご提供しています。

Centric Softwareは、3Dデザインソフトや3Dデジタルモックアップ、PLMソリューションで世界をリードするDassault Systèmes (ユーロネクスト・パリ: #13065, DSY.PA)の子会社です。

またCentric Softwareは、米Red Herring社が世界で最も革新的なテクノロジーベンチャー企業に贈るRed Herring Top100 Globalを2013年、2015年、2016年の3度に渡って受賞したのを始め、2012年、2016年、2018年、2021年度に受賞したFrost & Sullivanの各種アワードの他、数々のアワードを受賞しています。

 CentricSoftware™



[www.centricsoftware.com](http://www.centricsoftware.com)

CentricはCentric Software社の登録商標です。またすべてのブランド名や商品名は各ブランドの商標登録である場合があります。